

B-5 次の記述は、受信機の選択度の測定について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には、同じ字句が入るものとする。

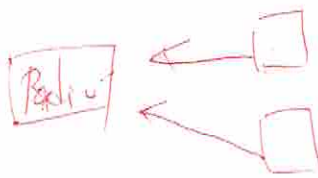
標準信号発生器

- (1) 受信機の実効度は、測定に使用する□アの台数や測定の目的により、1信号選択度と2信号選択度に大別できる。
- (2) 2信号選択度は□イとも言い、強い妨害波が存在□エ場合の選択度であり、その測定には2台の□アを信号源として用いる。代表的な2信号選択度には、感度抑圧効果、□エ変調及び相互変調があり、これらは、希望波への影響を一定値以内にするために許容される□オのレベルを示すものである。

10 3 9 1 7

- 1 混 2 熱雑音 3 実効選択度 4 しない 5 パルス発生器
- 6 過 7 妨害波 8 周波数選択度 9 する 10 標準信号発生器(SG)

妨害波



1信号 不要な電波を排除するか
 2信号 妨害波をいかに排除するか